



令和8年6月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

## 賀茂船主きんめ部会役員会でキンメダイ種苗生産研究の現状を報告

当場ではキンメダイの種苗生産研究を平成25年から行っています。毎年、漁業者の皆さんに御協力いただき、伊豆半島沖で親魚の採捕を実施してきました。

これまでキンメダイ種苗生産に関する調査や試験の内容について漁業者の方々にお伝えする機会がなかったため、伊豆漁協の協力を得て、キンメダイの漁業者の集まりである賀茂船主きんめ部会役員会の開催時に説明の場を設けていただきました。当日は17名の漁業関係者に話を聞いていただき、説明後には意見交換を行うことができました。

現場で作業されている方々の視点から、キンメダイの漁獲時の状態や海の様子、産卵期の魚の状態など様々な御意見を伺うことができました。今回直接話す機会を得られたことで、多く

の経験がないと分からないようなことを知ることができ、とても参考になりました。教えていただいた内容は今後の研究・調査に生かして行きたいと思います。

これからも、このような場を継続して設け、漁業者の方々とともによりよい成果を出して行ければと考えています。



漁業者の方々に説明している様子

## 令和8年テングサ作柄予察

4月下旬から5月下旬にかけて今漁期のテングサ作柄調査を伊豆地域の10地区27か所で行いました。調査では目視による観察と1㎡の範囲のテングサを採取して総重量と平均藻長を把握しました。

作柄調査の結果、前年より「増加」又は「やや増加」の地区が多かったこと、主産地の仁科地区で前年より「増加」していたことから、令和8年のテングサ作柄は、「県全体として増加」と予察しました。



←調査の様子

解説：本県は全国有数のテングサ生産県で、令和7年の生産量は愛媛県（63トン）に次いで全国2位（41トン）でした。

## 大熱海でヒラメ中間育成開始

大熱海漁協では、5月12日に県温水利用研究センター産のヒラメ稚魚を受入れて、中間育成を開始しました。御前崎市から活魚トラックで運ばれた平均32mmのヒラメ稚魚は、漁業者のバケツリレーで水槽に収容されました。

今年は、熱海地区で1万尾、上多賀地区で5千尾が、3週間程度飼育され、6月上旬に熱海市の沿岸に放流される予定です。



**6月の予定** ●潜水調査（白浜、仁科ほか） ●キンメダイ捕獲調査 ●大熱海ヒラメ放流（2日） ●田子マダイ沖だし（9日） ●網代マダイ沖だし（10日） ●下田市立認定こども園来場（16日）

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：[suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp) ホームページ：<https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>

当場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。